

アマゾンのボーカルで遊ぶ

私達の世代(古希を過ぎていますが)のアマチュアの世界でボーカルの重要さは理解されていませんでした。まあ、普及型の楽器(アドラー、ソノーラ、ヒューラーなど)を買うだけで精一杯だったのでそんな所まで手が回りませんでした。

時代が変わり、現在はアマチュアが高級なモーレンハウエル、フォックス、ピヒナーそれにヘッケルさえも所有している人が珍しくありません。

必然的に、ボーカルの事も俎上に上る事が当り前になりました。

確かに良いボーカルを持つという事は、楽器の能力を引き出すのに大きい役割を果たします。

とは言え、楽器に合わないボーカルを大事そうに使っている人もいます。それはボーカルの値段で決めているから、と言わざるを得ません。

例え10万円以上するヘッケルの物でも、合わなければ良い結果にはならないでしょう。

プロでもピヒナーにヘッケルの合わないボーカルを付けて、高音域がダダ下がり音色の人もありました。気が付かないのは本人だけです。

まあ高級品の話はこの辺りまでにして、安いボーカルの話をします。

安いと言えばAmazonで売っているChina製ですね。5000円程度で買えるのだからびっくりです。

国としてのChinaにはいろいろ問題がありますが、それは措くとしましょう。

アマゾン面白い物が数多くあり、実は結構購入しています。昔はファゴット関係の部品などは少なかったのですが、今は結構あります。

駄目な物もありますが、それは後で述べます。

私が最初に購入したのは2019年で、ボーカルは何と4370円でした。遊び感覚だったので駄目元で買ったのです。マウスピースと表示され、何じゃコレはという感じでした。長さが20.7cmとあり、我々の常識とは大分違う表示でしたが(笑)

注文後一ヶ月過ぎた頃に届きました。早速開けましたが、傷も無く、まあ普通のボーカルです。

早速楽器に付けてみました。私がいま使っているのはPickertという、日本に一台しかない楽器です。この楽器の話をすると長くなるので、それはまたの機会に(笑)

まず困ったのは、高い音が出難かった事。どうやら息抜きの穴が小さいからの様です。

この穴を広げるには、ピンバイスとマイクロドリル刃が必要ですが、一般家庭に余りある物ではありません。しかし、私は道具をいろいろ集めるのが好きなので、持っています。

最終的に1.2mmまで広げました。大きくすれば良いというものでも無いので、少しずつ試しながらするしかありません。

実はこのボーカル私の楽器に付けるとテナーのdが不安定になったんです。しかし、他の人の楽器に付けると悪く無い。私の楽器でも右手の3、4、5指を添えるウイーン式なら安定します。

まあ値段が値段なので遊びに使いました。ネットでKristian Oma Rønnesというノルウェーの奏者がいろいろ面白い事をしているのですが、高音用のボーカルにするのに穴を開けるとこのを見て早速やったり(笑)

フィラデルフィアのB. ガーフィールドがデュティエユの「サラバンドとコルティージ」で最

高音のfを出す時に絆創膏で塞いだボーカルの穴を開けていたのを思い出しました。結果として、先の遣り方は特定の状況でしか使えないですね。結局その穴はシールテープで塞ぎました。

そしてつい先日もう1本購入しました。5160円で少し高級(笑)銀メッキでなかなか綺麗な物です。今回は注文してから2週間ほどで到着しました。

早速楽器に付けてみると前記のボーカルと同じで、息抜きの穴が小さい。そこで同じ様に広げた所、前の物と違って私の楽器でも問題無く使えます。穴の直径は1.4mmにしました。

このボーカルは金属が柔らかく、角度の調整もし易いですね。何より気に入ったのは、音色が良いのです。私には洋銀でも亜鉛の多いボーカルは響きが硬い気がします。何と無くキンキンする。使わないで置くと青くなって来るボーカルがありますが、それがそうした物です。このボーカルは柔らかいので、銅が多いのでしょう。

尤も全てがOKという訳では無く、高音域が少々出し難い感じですが、飽くまで私の楽器ではです。

ところで、最初買ったボーカルで問題になったdなのですが、シールテープを巻いた所、改善しました。

ボーカルというのは巻き管とチューブがあるのですが、前者が高級品です。チューブを曲げて仕上げると曲げた場所で金属の密度に差が出ます。まあ無視しても良い差とも言えますが、気にする人には大きな問題でしょう。ヘッケルやフォックスのCVX、ヤマハのスーパーボーカルなどは巻き管で作ります。平面の金属を丁寧に折り込み「ろう付け」します。なので、ヘッケルのボーカルは昔から時折サイドが割れると言うより剥がれるんです。ヘンカー先生は割れたボーカルでもテープでぐるぐる巻きにして使っておられました。割れようがこのボーカルが一番良いのだと。修理に出すと金属板を貼られるので、それが良くないとも。微妙な差でも演奏に影響があるので、金属板で部分的に厚くなるのは確かに問題です。

さて前記のボーカルはもちろんチューブですから、曲げた部分に微妙な密度の差があると考えられます。試しにシールテープを色々な箇所に巻いてみました。

あら不思議、dの問題が消えました。場所を変えて巻くといろいろ変わって来ます。面白くて止められません(笑)。リードにも抛りますが、高音域が大分変わります。タンギングにも影響があります。実に興味深いですね。

まあ以上がアマゾンのボーカルで遊んだ事です。前にキンキンした音がする人がいたので、ボーカルの所為だった事が何度もあります。そんな時にヘッケルやヤマハの高額なボーカルを勧めても、買えない人は多いでしょう。試しにアマゾンのボーカルを試すのは悪くないと思います。

もちろんヘッケルやヤマハのボーカルより良い物だと言う訳ではありません。高額商品にはそれなりの理由があります。それに通販なので選ぶ訳には行かず、運任せという事もあります。それでも使っているボーカルに疑問を感じているなら、使う意味がある気はします。飽くまで自己責任にはなりますが、何せ安いので玩具を買うくらいの気持ちでどうぞ。